平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ひらまつ

コード番号 2764 URL <http://www.hiramatsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平松 博利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部ディレクター・ジェネラル (氏名) 服部 亮人

TEL 03-5793-8818

四半期報告書提出予定日 平成23年5月16日

配当支払開始予定日

平成23年6月20日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	5,240	4.1	759	16.6	750	14.2	361	△2.2
22年9月期第2四半期	5,032	△4.5	651	12.0	656	14.3	369	21.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	4,584.92	4,553.18
22年9月期第2四半期	5,497.15	5,488.28

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
23年9月期第2四半期	11,220		4,959	44.0		62,567.06
22年9月期	10,068		4,887	48.3		61,670.34

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 4,935百万円 22年9月期 4,863百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	—	—	3,682.00	3,682.00
23年9月期	—	1,750.00	—	—	—
23年9月期(予想)	—	—	—	1,800.00	3,550.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

(注) 平成22年9月期期末配当金の内訳 記念配当500円00銭 普通配当3,182円00銭

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	10,593	1.0	1,602	12.6	1,580	10.9	858	2.6	10,883.64

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社 (社名)、 除外 一社 (社名)
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年9月期2Q 81,007株 22年9月期 81,007株
② 期末自己株式数 23年9月期2Q 2,120株 22年9月期 2,140株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年9月期2Q 78,874株 22年9月期2Q 67,287株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P.3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新興国を中心とした好調な外需や、政府の政策支援等によって下支えされた内需により緩やかな回復がみられましたが、未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生を境に経済環境は一変し、景気動向は大きく下押しされ、電力供給や原発の問題等未だに不透明な状況が続いております。

当社グループは、お客様からの支持をより確固たるものとすべく、前連結会計年度より推進してきた各種施策（レストランにおける潜在能力の開発、強い人間集団の形成、ワイン施策、集客強化施策、メンバーシップの活動推進、ブライダル施策、ケータリング施策等）を強化推進いたしました。2月度までは、改善傾向にある消費動向を背景に予想以上の集客を実現し、想定以上の売上高を達成しておりましたが、震災以降、未曾有の被害を起因とした自粛ムードや原発事故による不安、計画停電等による消費の大幅な低迷により、3月度の売上高が想定を下回った結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、ほぼ予想通りとなりました。

また、リーマンショック以降、利益体質への変換を推し進め、前連結会計年度に確立したことから、前年同期に比べ収益性が向上し、営業利益及び経常利益とも予想を上回りました。尚、特別損失として災害による損失80百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額32百万円を計上しております。

この結果、売上高5,240百万円（前年同期比4.1%増、前回予想比0.1%減）、営業利益759百万円（同16.6%増、2.2%増）、経常利益750百万円（同14.2%増、2.0%増）、四半期純利益361百万円（同2.2%減、7.9%減）となりました。

尚、セグメントの業績は、次のとおりであります。

「フランス料理事業」は、売上高3,272百万円、セグメント利益560百万円となりました。

「イタリア料理等事業」は、売上高1,965百万円、セグメント利益は429百万円となりました。

「その他」については、売上高227百万円、セグメント利益47百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ1,152百万円増加し、11,220百万円となりました。これは主に、現金及び預金が573百万円、たな卸資産が151百万円、新店の設備投資により有形固定資産が100百万円、代預託契約の解除等に伴い敷金及び保証金が292百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ1,080百万円増加し、6,261百万円となりました。これは主に、有利子負債が1,042百万円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ71百万円増加し、4,959百万円となりました。これは主に、利益剰余金が71百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ573百万円増加し、3,497百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は239百万円（前年同期は402百万円の収入）となりました。主な増加項目は、税金等調整前四半期純利益が637百万円（同656百万円）、減価償却費が130百万円（同119百万円）、一方で主な減少項目は、法人税等の支払額が369百万円（同241百万円）、たな卸資産の増加が151百万円（同32百万円）であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は421百万円（前年同期は144百万円の支出）となりました。これは主に、代預託契約の解除等に伴う敷金及び保証金の差入による支出が375百万円（同21百万円）、新規出店に伴う有形及び無形固定資産の取得による支出が126百万円（同122百万円）となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は756百万円（前年同期は220百万円の支出）となりました。これは主に、金融機関からの借入れによる収入が1,500百万円（同150百万円）となった一方で、長期借入金の返済及び社債の償還による支出が454百万円（同411百万円）、配当金の支払いによる支出が286百万円（同104百万円）となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のレストランを囲む環境は、予断を許さぬところではありますが、今後の業績を予想するにあたり、重要な要素となる当連結会計年度の婚礼件数は、平成23年5月13日時点で1,492件（実施済と予約数を合わせた件数）となり、前年同時期に比べに7.5%増（平成22年5月13日現在の婚礼件数1,388件）で推移しております。また、当第2四半期連結会計期間に開店した「ブラスリー ポール・ボキューズ 博多」は、堅調に推移しております。更に、平成23年9月に新規出店する「レストランテASO 天神」においては、開店前の婚礼営業活動をスタートさせ、既にプレオープン期間である8月に4件、9月に12件の受注を獲得する等、順調に推移しております。

前回公表いたしました通期の業績予想は、震災前の状況において見積もった予想値であり、震災により経済状況が大幅に変化していることから、今後の経済状況を踏まえ、新たに通期の業績予想を検討いたしました。今後の見通しにつきましては、本日公表いたしました「平成23年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高10,593百万円（前年同期比1.0%増、前回予想比3.0%減）、営業利益1,602百万円（同12.6%増、0.1%増）、経常利益1,580百万円（同10.9%増、0.0%増）、当期純利益858百万円（同2.6%増、0.9%減）とさせていただきます。

また、当期剰余金の配当につきましては、平成23年3月8日に公表いたしました「中間配当の実施及び平成23年9月期配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、1株当たりの配当金を3,550円00銭（東京証券取引所市場第一部銘柄指定記念配当500円を除く前期普通配当3,182円に対し11.6%増）とさせていただきます。本日公表いたしました「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」による自己株式の取得価額の総額500百万円と合わせ、平成23年9月期通期の総還元額は780百万円、総還元性向は90.9%を予定しております。

尚、平成24年9月期の業績につきましては、既に平成24年9月期に実施予定の婚礼件数が、平成23年5月13日時点で443件となり、前年同時期に比べ23.1%増（平成22年5月13日現在の婚礼件数360件）で推移していること、及び当連結会計年度の新店2店舗が通期寄与することから、当連結会計年度の業績を大幅に上回る予定です。※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。特に東日本大震災の影響につきましては、継続的に情報収集と分析を行い、当社グループの業績に重大な影響が見込まれ業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに公表いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出しております。

3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ3,200千円減少し、税金等調整前四半期純利益は35,644千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は127,172千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,527,255	2,953,858
売掛金	309,655	390,547
原材料及び貯蔵品	1,156,722	1,004,839
繰延税金資産	54,670	62,921
その他	436,289	285,473
貸倒引当金	△576	△751
流動資産合計	5,484,017	4,696,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,986,604	3,782,271
減価償却累計額	△720,408	△630,347
建物及び構築物(純額)	3,266,195	3,151,923
機械装置及び運搬具	67,627	67,625
減価償却累計額	△58,290	△56,043
機械装置及び運搬具(純額)	9,337	11,582
工具、器具及び備品	1,476,871	1,405,134
減価償却累計額	△986,423	△937,410
工具、器具及び備品(純額)	490,448	467,724
土地	299,273	299,273
リース資産	33,100	33,100
減価償却累計額	△15,998	△12,688
リース資産(純額)	17,101	20,411
建設仮勘定	42,150	72,703
有形固定資産合計	4,124,506	4,023,619
無形固定資産		
のれん	113,363	151,151
その他	13,833	14,368
無形固定資産合計	127,196	165,519
投資その他の資産		
投資有価証券	3,256	3,056
繰延税金資産	53,758	40,061
敷金及び保証金	1,315,582	1,022,938
その他	125,695	127,564
貸倒引当金	△22,001	△21,987
投資その他の資産合計	1,476,292	1,171,633
固定資産合計	5,727,995	5,360,771
繰延資産		
株式交付費	7,254	8,755
社債発行費	1,363	1,911
繰延資産合計	8,617	10,667
資産合計	11,220,631	10,068,328

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	587,303	544,816
1年内償還予定の社債	89,500	89,500
1年内返済予定の長期借入金	1,890,162	1,742,328
リース債務	6,673	6,606
未払金	141,076	150,697
未払費用	212,073	200,164
未払法人税等	280,819	391,000
未払消費税等	31,111	58,083
前受金	429,604	418,632
その他	59,134	69,975
流動負債合計	3,727,458	3,671,803
固定負債		
社債	131,000	175,750
長期借入金	2,250,629	1,308,291
リース債務	10,847	14,201
資産除去債務	130,939	—
その他	10,155	10,306
固定負債合計	2,533,571	1,508,548
負債合計	6,261,029	5,180,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,213,540	1,213,540
資本剰余金	1,231,782	1,231,249
利益剰余金	2,645,187	2,573,946
自己株式	△117,547	△118,656
株主資本合計	4,972,961	4,900,079
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	957	838
為替換算調整勘定	△38,191	△37,163
評価・換算差額等合計	△37,233	△36,324
新株予約権	23,874	24,221
純資産合計	4,959,601	4,887,975
負債純資産合計	11,220,631	10,068,328

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	5,032,846	5,240,463
売上原価	2,178,325	2,282,289
売上総利益	2,854,521	2,958,173
販売費及び一般管理費	2,203,195	2,198,558
営業利益	651,326	759,615
営業外収益		
受取利息	315	288
為替差益	7,273	—
協賛金収入	3,412	2,742
広告料収入	—	2,909
その他	12,209	8,512
営業外収益合計	23,211	14,452
営業外費用		
支払利息	17,159	15,642
為替差損	—	5,294
その他	407	2,873
営業外費用合計	17,566	23,810
経常利益	656,970	750,257
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	32,444
災害による損失	—	80,800
特別損失合計	—	113,244
税金等調整前四半期純利益	656,970	637,012
法人税、住民税及び事業税	279,858	279,927
法人税等調整額	7,225	△4,544
法人税等合計	287,084	275,383
四半期純利益	369,886	361,629

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
売上高	2,248,493	2,175,612
売上原価	1,008,274	990,508
売上総利益	1,240,218	1,185,103
販売費及び一般管理費	1,070,301	1,078,995
営業利益	169,917	106,108
営業外収益		
受取利息	247	248
為替差益	4,673	—
協賛金収入	1,067	953
広告料収入	—	925
業務受託手数料	1,666	1,250
その他	4,784	1,071
営業外収益合計	12,440	4,450
営業外費用		
支払利息	8,422	7,930
為替差損	—	5,294
その他	216	1,835
営業外費用合計	8,638	15,060
経常利益	173,718	95,497
特別損失		
災害による損失	—	80,800
特別損失合計	—	80,800
税金等調整前四半期純利益	173,718	14,697
法人税、住民税及び事業税	96,722	18,219
法人税等調整額	△16,343	△6,002
法人税等合計	80,379	12,216
四半期純利益	93,339	2,480

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	656,970	637,012
減価償却費	119,826	130,095
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	32,444
のれん償却額	37,787	37,787
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△30	△160
受取利息及び受取配当金	△329	△288
支払利息	17,159	15,642
売上債権の増減額(△は増加)	△63,227	85,153
たな卸資産の増減額(△は増加)	△32,268	△151,847
仕入債務の増減額(△は減少)	22,287	44,375
未払金の増減額(△は減少)	△56,122	△9,620
未払費用の増減額(△は減少)	10,363	15,888
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△5,500	△20,519
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,238	△26,971
前受金の増減額(△は減少)	20,615	10,880
その他	△54,056	△171,510
小計	663,237	628,362
利息及び配当金の受取額	329	288
利息の支払額	△20,151	△19,418
法人税等の支払額	△241,335	△369,589
営業活動によるキャッシュ・フロー	402,080	239,642
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△122,265	△126,190
敷金及び保証金の差入による支出	△21,787	△375,283
敷金及び保証金の回収による収入	428	82,711
貸付けによる支出	△780	△2,500
貸付金の回収による収入	371	164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,033	△421,097
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△77,166	△409,828
社債の発行による収入	148,926	—
社債の償還による支出	△334,000	△44,750
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,220	△3,286
ストックオプションの行使による収入	—	1,294
配当金の支払額	△104,608	△286,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220,068	756,917
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,599	△2,065
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	34,379	573,397
現金及び現金同等物の期首残高	1,210,382	2,923,858
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,244,761	3,497,255

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。